

月刊
さわやか

第30号
平成21年10月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

役員・地域班長合同視察研修

港区SCの女性活動等に学ぶ

当センター恒例の役員・地域班長合同視察研修。年2回ありますが、上期は他のシルバー人材センター(SC)の視察が中心。今年度は9月15日、東京 港区SCを訪れました。参加者は35名。ちなみに、昨年度は7月17日、日光市SCを訪問)

港区SCは南麻布1丁目の3階建て多目的福祉会館「ゆつあい南麻布」の中。同SC常務理事、事務局長の宮川修氏と、事務局企画管理係長の日向祐子さんに応対、説明いただきました。

港区SCで自立つ特徴は、女性会員の比率が50.6%と、日野市SCの23.2%に比べ圧倒的に高いこと(別表参照)。そこで、なぜ女性会員が多いのか、どういつ活動をしているのか、との質問が中心になりました。



港区SCで説明を聞く当センター参加者

宮川氏はまず、港区の経済生活事情を挙げました。男性は60代でも現役雇用が多く、またSC就業では生活費を賄えないという事情から、男性会員が増えず、「仕事はあるが、会員が足りない」といつギャップが生まれているとのこと。

なぜ女性会員が多い？

他方、女性は「高学歴、継続勤務、核家族」の方が多く、社会進出が顕著で、グループ作りなどが繋がりがあり、口コミで入会者が広がっているそうです。日向さんもとくに女性の勧誘をしているわけではないと言います。

日向さんによると、女性会員の就業は主として家事援助サービス、庭園清掃、学校関係、会館管理

会員数
平成21年8月31日
1,669名
男性 1,278名
女性 391名
入会者数
8月 27名
(男19名、女8名)
但し、退会者 25名

データ比較 H21.3.31現在

	港区SC	日野市SC
市の面積	20.34km ²	27.53km ²
総人口	199,841人	175,918人
男性	93,482人	89,160人
女性	106,359人	86,758人
会員数	1,353名	1,593名
男性	669名 (49.4%)	1,224名 (76.8%)
女性	684名 (50.6%)	369名 (23.2%)
入会率	2.86%	3.35%
契約金額	667,566千円	598,566千円

など。また、女性交流の場としては、年2回ホテルでの食事、気持ちが晴れやかになる講習(たとえば資生堂から化粧指導)など。

他に、独自・自主事業として「小さな結婚式」の司会、自転車リサイクル事業の話もあり、参加者から「参考になった」との感想が聞かれました。最後に、参加者を代表して池田常務理事がお礼の言葉をのべました。(広報部会)

今年度第2回 全地域班一斉清掃

10月18日(日)

会員の皆様には「全地域班一斉清掃の実施について」と題するお願い文書をお配りしました。皆様の参加をお願いします。

当センターのホームページの就業案内閲覧にはパスワードが必要となりました。

今回の折り込み文書は
選挙事務従事会員の募集について
最低賃金制度とシルバー人材センターの配分金について
新型インフルエンザ対応マニュアル



10月普及啓発月間 豊田駅構内に 当センター横断幕掲揚

毎年10月は全国シルバー人材センターの普及啓発促進月間です。当センターでは毎年、JR豊田駅のご好意により、10月1日～31日、駅構内コンコースに「シルバー横断幕」を掲揚させていただいています(左写真)。

「月間」にあたって当センターはさらに、会員募集チラシの配布、入会案内などのPR行動を予定しています。

新入会員研修会 毎月実施 「会員の心得」を中心に

台風一過の10月9日、生活保健センターでおこなわれた当シルバー人材センター(SC)の新入会員研修会(今年度7回目)を訪ねました。参加者は29名(女性5名)でした。受付で会費を納めて会員証を受け取り、晴れてSC会員になった方々です。

総務部会の渡辺理事の司会で開会。まず北村会長が挨拶し、SCの概要、自主自立と共働共

助の理念についてまた地域班会議などに積極的に参加し、今まで通り社会人として活動して欲しいとのべました。

次に「当センターの組織と就業について」と題して、山本理事(総務部会長)が会員の心得、就業先をどう探すか、シルバー保険等について説明し、さらに「私の就業体験」についても話しました。それは、参加者の興味深そうな表情が垣間見られました。

続いて、接遇(応対マナー)について八田講師が現場の具体例を交えて話をし、糸井・徳田両シニアコーディネーターが就業希望リストを回収、希望者には就業相談をするとの約束しました。

参加者のある男性は「今まで会社で経験してきたことと同じで満足した」と言い、ある女性は「友人に勧められて入会したので、地域班のことも知っていた」と語っていました。(吉本)

総務部会員1名を補充

林 登(元職場リーダー、豊田班)

理事会二ニュース

第7回理事会 9月30日

審議事項 正会員の入会 最低賃金の改定に伴うシルバー人材センターの対応 選挙事務従事会員の募集
報告事項 8月度事業運営状況 各専門部会・安全管理委員会 の活動報告

「センター行事日程」

10月14日(水) 地域班長会議
生活・保健センター
10月18日(日) 第2回全地域班一斉清掃
10月19日(月) 全国SC経験交流大会 中野サンプラザ
11月12日(木) 秋の会員研修旅行 南房総の旅
後期の地域班会議 11月1日(平山1班)から順次12月末までに全地域班で開催されます。

配分金の支払日

10月20日(火)
11月20日(金)
12月18日(金)
1月20日(水)
2月19日(金)
3月19日(金)
4月20日(火)

新入会員研修会への参加者(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
20	24	18	10	17	20	14	103
21	29	24	29	15	26	21	144

当センター入会者数(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	計
20	59	14	17	17	24	131
21	36	34	28	21	27	146

研修会参加者ふえる 入会者と研修参加者の比較から、研修参加者の増加ぶりがうかがえます。

リサイクル・フェアを開催

リニューアル事務所で 参加者900名余

リサイクル事務所内部の家具売り場面積を広くしてのリニューアル・オープンを受けて9月26日(土)、リサイクル・フェアが開催されました。今年度2回目です。

過去2回は雨天続きでしたが、今回は晴天に恵まれ、市内全戸配布の案内チラシの効果もあって、開場予定の10時前からお客様が続々と詰めかけ、閉会までに900名を超えました。

各種テントの中でも目玉の一つは、久々登場した福引抽選。1等



家具売り場を視察される馬場市長(中央) 右は北村会長、左は池田常務理事

エコバッグからハズレでもティッシュがもらえるので、長い行列ができました。ただし、会員以外の方が対象。リサイクル自転車はいつでもおりの大盛況。

リニューアルオープンの目玉、家具売り場は、お客様でほとんど満員。チラシを見て初めて来た」といってお年寄りや若いカップルもいました。

午後には馬場市長も来場。新しい家具売り場を中心に視察されました。



リサイクル自転車の抽選

入会案内コーナーを新設

今回のリサイクル・フェアでは、新しい試みとして入会案内コーナーを設置。10名ほどの方々が立ち寄り、入会案内説明会のチラシを持ち帰りました。

包丁研ぎ第2グループが発足

すでに営業を開始している自主事業の包丁研ぎグループ(5名)に続いて、第2グループ(同じく5名)が10月上旬に発足しました。同グループは10月1〜7日、集中的に4回の講習を済ませ、近々大規模マンションに出向き、実践営業を行う予定となっております。

一市民から当センターにお礼のはがき(左記全文)

私は九月(十一)日福祉センターへシルバークラブの手続きに行き、気分が悪くなり、親切にしてくださいました。お礼を言いたかったのですが、名前がわかりません。女の人。福祉センターで聞いたら、シルバークラブの人だといわれました。だれかわかりませんが、受付も男の人だけでなく、女の人もいます。いいですね。本当にありがとうございます。一老婆より

「生き生きカルチャー教室」

今年度下半期分 10月から開講

「生き生きカルチャー教室」今年度下期の「ご案内」で提示した7教室のうち、次の5教室が10月から開講しました。

- 超初心者 囲碁教室
- 初めての、エッセイ教室
- 着付け教室

実用的 毛筆書 筆ペン書教室
創作 紙ねんど人形教室
「地域班長だより」は今回休みます)

それってなに?

新入会員研修会

シルバークラブ人材センター(S.C.)の会員になって最初に受ける研修の場で、このとき会員証も交付されます。最近毎月月初旬に開かれ、内容は会長挨拶、理事の講話、接遇研修、就業相談など。理事の講話は各理事が持ち回りで当番し、当センターの組織と就業について、私の就業体験について、の2本柱から成ります。とくに、で、事業理念や会員の心得、組織と運営等S.C.の基本について説明します。

刈払機研修を緊急実施

事故続発に対応 過去最多の56名が参加

当センターによる刈払機研修会が9月16日、日野市立病院跡地(市有地)でおこなわれました。これは本紙前号で報じたように、

草刈り作業で事故が続発しているため緊急に実施されたもので、過去最多の56名が参加しました。

参加者の内訳は、公園関係者28名、草刈り班20名、草刈り班6名、清掃班2名。清掃班でも草刈り作業があると言います。

まず、研修責任者の橋本安全管理委員長が、いずれも刈払機が小石を飛ばして起きた最近の事故の内容と、研修の目的を説明しました。続いて、池田事務局長が「技術を習得して事故防止に努めて欲しい」と挨拶。また独自のチャイロンコード刈払機を使う公園関係者に対しては、「市貸与の機械なのでその改善を検討する」と答えました。

草刈り班のベテラン講師山中氏

〔平成21年度安全標語優秀作〕

まだ若い 気力と体力 ズレがある 足立 忠弘(西平山)



刈払機研修の現場

は、「刈払機は小石などを飛散する」という前提で機械の扱い方、飛散を防ぐ重要ポイントを何度も繰り返し説明しました。

研修者一同は8グループに分かれ、用意された8台の刈払機をフル回転させ、全員が実習に入りました。各グループの代表は、緊張気味の初心者に、ベルトの装着から懇切丁寧に指導する姿が

印象的でした。ある公園関係者は理屈でわかってても、実際にやると難しい経験が大事だ」と語っていました。(Yit)

刈払機で小石を飛ばす 3件目の事故発生

上記研修会を前にして、刈払機で小石を飛ばす3件目の事故が発生しました。9月11日、草刈り作業中の男性(66)が飛ばした小石で乗用車の窓ガラスを破損させました

他方、9月9日、駐輪場で就業した男性(75)が帰宅後、熱中症で病院に搬送されました。今年度の事故は傷害2件、賠償3件の計5件。

全シ協主催 全国経験交流会大会でも 当センターが安全発表

全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)主催の「全国経験交流会」が、きたる10月19日、中野区の中野サンプラザでおこなわれます。同大会のテーマは「安全就労 企画提案 派遣事業の3部門に分かれ、安全就労について当センターが担当するよう依頼を受けました。」

お元気ですか

会員の就業現場におけるトラブルの原因にはいろいろなあります。が、幾つかの原因を挙げてみます。まずは仲間と上手くいっていない職場リーダーとそりが合わない自己中心的存在である。物忘れが激しい。マニュアルをよく読まずに仕事をしている。等々あります。

例として、公共の仕事で、学校関係の職場があります。それぞれ学校(小中)単位でマニュアルが準備されています。そして職場にはリーダーがいます。リーダーが準備したマニュアルでも4、5ページから40数ページのものまであります。そのような職場でも、年に何回かトラブルが発生しています。原因は冒頭に書いたようなことです。誰が悪いというのではなく、まずは自分自身で反省してみることが大切です。

私も民間企業で仕事をしていますが、月並みな言葉ではありませんが、仲間と楽しい職場づくりに協力し、明るい職場にしていけることが大切だと思っています。

シルバー会員の基本理念である自主・自立、共働・共助の精神を忘れずに仕事に励みたいと思います。(田村隆道)